

【創世記 47 章】「ヨセフは父ヤコブを連れて来て～ヤコブはパロにあいさつ（祝福）」

TLCCC FRH

した。」(7 節)「私のたどった年月は百三十年です。私の齢の年月はわずかで～」(9 節)

とうとうヤコブは一家を引き連れてエジプトにきました。ヨセフとヤコブ父子の感激的な対面でした。パロ王の前に兄弟が紹介され、父ヤコブも紹介されました。エジプトの王の前に立ったヤコブはカナンの地が飢饉で食べ物がなく、避難民として王とは比べられない姿をしていたでしょう。しかし自分がアブラハム、イサクに継いで神の祝福をもらった信仰は固く、王を祝福しているのです。素晴らしい信仰です。「わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。」創世記 12:2 私達もまたイエス・キリストによってアブラハムの祝福を受け継ぐ者として選ばれています。「あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのだからです。」I ペテロ 3:9

9 節に「ヤコブはパロに答えた。「私のたどった年月は百三十年です。私の齢の年月はわずかで～」と言っています。私達も自分の人生を振り返って何と言えるでしょうか？ my ストーリーは壊れたかもしれません。しかし His ストーリーの中に生かされています。His とは神様でありジーザスです。His ストーリーを捉えたら my ストーリーも our ストーリーもその中に入っていることに気づきました。

マーリン師は感謝と賛美をご自分で実行され、世界中の人々にその恵みを伝えられました。新井宏二牧師もスネルゴイの働きと発想の自由で用いられ、多くの方々に恵みと癒しを与えて天に帰られました。私達の人生はどうでしょうか？本当に価値のあることをしたでしょうか。天に宝を積んでいるでしょうか？天に帰った時、「よくやった忠実な僕よ。」と言われるような人生を送れますように願います。永遠の神のご計画の全体像の中で、今この時に生かされている事の意味、キリストのしもべとして自分を捨て、十字架を負って果たすべき役割をとらえられますように。「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。～わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。」ヨハネ 15:5 神様の用意して下さったご計画、祝福をおろそかにしないように、神の約束のこぼれをないがしろにしないように、なお聞き従いの道を歩んで行きましょう。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ 3:16

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト

牧師: ダニエル大重



Siloam



4 月 19 日 No.837

(シロアム: 遣わされた者 ヨハネ 9:7)

今年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、主のわざを見るであろう。

わたしがあなたとともに行うことは 恐るべきものである。

(出エジプト 34:10)

神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下さいました。

文字に仕える者ではなく、御霊に仕える者です。

文字は殺し、御霊は生かすからです。

(II コリント 3:6)

主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>